

地域・保護者からの支援活動

学校支援ボランティアに寄せる思い～コミュニティ・スクール～

校長 瀬戸 成男

コミュニティ・スクール。子どもたちに幸せな学校生活を送らせるために地域・保護者の力や考えを最大限に生かしながら学校教育を進めていく学校と言っただけではいいのではないのでしょうか。そして、こうした考えに立って、地域・保護者・学校が一体となって主体的・積極的に活動を進めていくと、今在籍する子どもたちが高まるだけでなく、学校自体も高まっていくと考えます。

これからの時代、いろいろな人と関係を持たなければ、よりよく生きていくことはできないと思います。学校という教育の場で、子どもたちの目に多くの人の姿が映るとということ、子どもたちが学ぶ中で多くの人々との関係を持つということは、子どもたちの成長にとって、とても重要なこととなります。もちろん、専門的な事を教えていただきたいという場合もありますが、保護者の皆さん、地域の皆さんが学校の子どもたちに姿を見せてくださるだけでよい教育になっていくのです。子どもたち一人ひとりには、必ず皆さん方の姿からいろいろなことを学び、励まされていきます。

難しいことを考えずに、子どもたちの様子、学校の様子、勉強の様子を見に来て下さったら、うれしい限りです。 (開成小学校PTA広報より)

開成小学校のPTA広報から引用させていただきました。瀬戸校長先生が保護者の方や地域の方々の学校におけるボランティアの子どもへの影響を書いていらっしゃいます。

「開かれた学校」とよく言われますが、学校にお子さまが通っていないとなかなか、学校に行くと子どもたちの様子や勉強の様子を見せていただくのは気が引けるのでしょうか。学校は、「学校へ行こう週間」として、学校へのお出でをお待ちしているはずですが、また、「学校支援ボランティアとして」子どもたちに関わる活動を行ってみようと思われる方はどうぞ、学校に連絡をしてみてください。

開成小学校の今年度の学校支援ボランティア実施種類を列挙します。

下校時引率 読み聞かせ 4年生社会科「火事を防ぐ」 あじさいボランティア(あじさい祭りでの活動見守り) 水泳監視 裁縫学習支援 校地環境整備 図書しおり作成 運動会救急対応 2年生生活科支援 福祉体験支援 2年生町探検見守り ミシン学習支援 図書室支援 その他

また、体験された方々は、次のような感想を広報に寄せていらっしゃいます。

読み聞かせボランティア

「本読みママ」というグループ名で活動しています。教室に近づくと「来た、来た、来た！！」とニコニコ顔をのぞかせて待っていてくれます。町で子どもたちに会うと「本読みママ」と声をかけてくれます。幸せな気分になります。

福祉体験支援ボランティア

事前に子どもたちに体験指導を行ってくださる方々から講義と体験を受けました。子どもと共に印象深い経験をすることができました。

町探検見守りボランティア

いつもの教室での授業参観とは違った子どもたちの姿を見ることができてよかったです。

ミシン学習支援ボランティア

大人がそばにいて安心してミシンを動かす子もいるので、ボランティアがもう少しいたらいいと思いました。

それぞれのボランティアの方々が活動の中で自ら学ぶ機会に出会ったり、ボランティアの意義を感じたり、課題を見つけたりとボランティア活動の重要性を感じてくださったようです。

学校から地域に出て行く奉仕活動

開成町では伝統的に卒業間近の6年生が地域に出て行き、地域の方々にお礼の意味も兼ねて地域の集会所や公民館の清掃活動を行っています。

二つの小学校の学校だよりを掲載させていただき、6年生の地域とのつながりを紹介させていただきます。

奉仕活動 ～6年生が地域で～



2月26日(火)の午後、6年生の子ども達は、総合的な学習の時間に『奉仕活動』を行いました。内容は自分の住む地区の公民館や集会所等の公共施設の清掃や草取り、落ち葉集めなどでした。活動の後、地域の方々との交流会も行いました。

この活動を行うにあたっては、各自治会長様はじめ地域の方々のご厚意により、多大なご支援をいただきました。また、ボランティアとして保護者の皆様にもご支援いただきました。

(開成南小学校だより「みなみの風」より抜粋)



6年生卒業に当たっての地域奉仕活動

子どもたちが子ども会への参加が減ってきている。地域コミュニティと子どもとのつながりが希薄になってしまわないか心配。いざというときに、地域コミュニティの結束が弱まるのではないか。



そのためにも、この地域奉仕活動を続けていかなければならないと考える。小学生自身に自分が地域の一員であることを自覚し、当然のことと地域奉仕ができるようにさせていきたいものとする。

(開成小学校だより「あじさい通信Ⅲ」より抜粋)



二つの小学校の学校だよりで書かれてあった地域に出て行く活動(地域奉仕活動)の報告です。子どもたちは、地域の方々と共に奉仕活動を行うことで自分が地域の一員であることを自覚することでしょう。又、清掃の後に交流を持ったということですので、話をしながらどのように人と交流を持つかを学ぶ事でしょう。

次は自分たちが地域の大人として子どもたちを育てていく時が来るわけです。この確かな流れが大切なことと考えます。